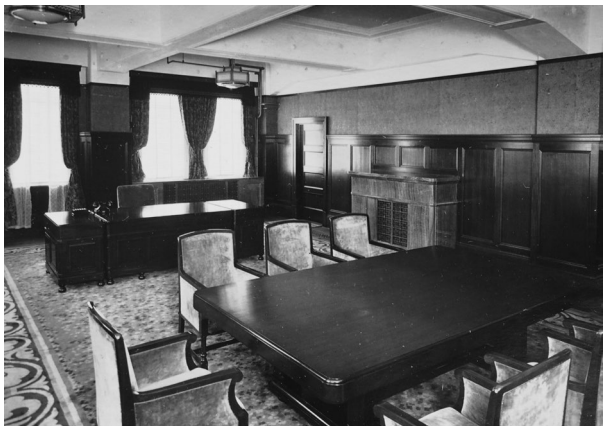


「昭和 100 年」関連施策

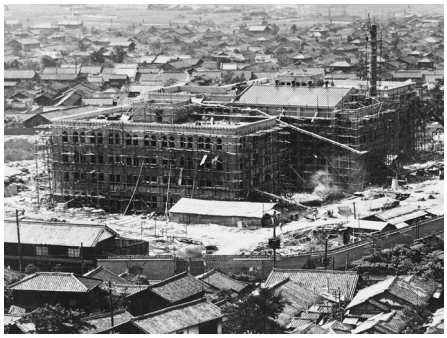
和歌山県庁舎本館特別見学会

和歌山県庁舎本館は昭和 13 年（1938）に建設されました。当時最新の構造と設備を備えた庁舎で、平成 25 年（2013）に国の登録有形文化財に登録されています。

このたび昭和 100 年を記念して、正庁や知事室など通常は非公開の部屋も含めて公開します。この機会に和歌山県の昭和遺産の一つである県庁舎本館を見学することで、世代を超えて先人の英知と努力に学び、その歴史と魅力を体験します。



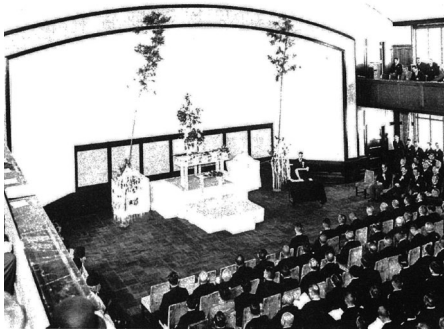
竣工時の知事室



和歌山城天守閣から見た建設中の県庁舎

和歌山県庁舎本館

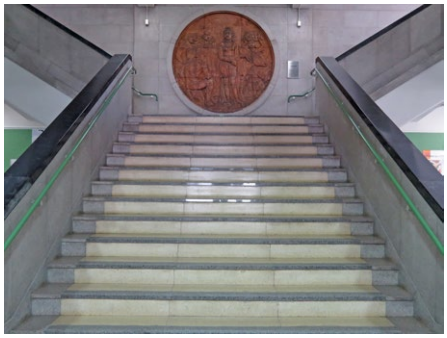
所　在	和歌山市小松原通一丁目１番地
構　造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
延床面積	10,344.58 ㎡ (竣工時)
竣　工	昭和 13 年 (1938)3 月 31 日
建築顧問	内田祥三（東京帝国大学教授）
設　計	増田八郎（和歌山県技師）
施　工	株式会社清水組（現清水建設）



昭和 13 年 4 月 15 日　議場でとり行われた竣工式



議　場



階段ホール



正　庁

掲載の古写真は和歌山県立文書館蔵『和歌山県営繕技師増田八郎資料』より